



# そのだ南

HPアドレス [www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html](http://www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html)

尼崎市立園田南小学校  
学校便り 第6号  
令和2年8月20日



## 心を動かすやさしさ

校長 佐藤 喜代子

夏の風物詩ともいえる花火大会やまつり、スポーツの大会など楽しみなことが中止されたり縮小されたりしています。少し緩和されたのと同時に感染が広がるこの状況では、気分転換に出かけることや、今しかできない体験にブレーキがかかっているのが現状です。子どもたちは、少しでも日頃できない時間の使い方ができたかなと心配しています。

短い夏休みの後は、いつもより長い2学期のスタートです。新しい生活様式は、みんなの心がけでお互いを守ることに繋がります。大変ですが続けていきましょう。その上で学校生活を楽しみ、有意義な毎日であってほしいと願っています。

毎日のように耳にする「密」ということばは、本来は仏教の「三密」からきているそうです。

「仏教での三密は、身密（しんみつ）、口密（くみつ）、意密（いみつ）といい、唐から伝えられた密教の密からきており、修行のことを指します。身体や行動（身）を整え、言葉や発音（口）を正しいものとするれば、おのずと心や考え（意）も整う。修行を重ね、三密を研ぎ澄ませば、この世でも心穏やかに過ごせる。」といひます。コロナと共存せざるを得ない今、手洗い励行、身勝手な行動は慎むこと、うがいをしっかりとすることや人のいやがる言葉を口にするのを慎むこと、不安な中で他人への心配りや感謝の気持ちをもつことは、より良く生きるための教えなのです。 参照：朝日新聞 寿徳寺住職 松村妙仁 R2.7.14

心がギスギスする日常でも、こんな話があります。

### 机の上「どうぞ」の輪

教会に届いた段ボール1箱分の菓子パンや調理パンの贈り物に困った牧師の谷本さんは、コロナ禍で人を呼べない状況を思案して玄関先に折りたたみテーブルを出し、そこに並べて「ご自由にお持ち帰りください」と貼り紙をした。次は泥付きの新鮮なタケノコをもらったので、数本をそのテーブルに置いてみると、いつのまにか収穫したてのタマネギが箱一杯置かれていました。ちまたでは、マスクの買い占めやトイレットペーパーの品薄状態が続く頃です。まるで「どうぞのいす」だという反応もあり、このテーブルの上では、ささやかな品々が増えたり減ったり…。コロナ禍で人間同士はふれあえなくてもモノを介してつながれる。そう確信した谷本さんは、絵本をヒントに「どうぞのつくえ」と名付けて教会の活動として続けました。〈誰かが喜びそうなものを一つか二つ、持ってきてください。そしてほしいものや要るものがあれば、どうぞ自由に持ち帰りを〉…すると、日持ちしそうな食料品が次々と寄せられた。手作りマスクや洗剤といった日用品も加わり、折り紙のアマビエも数日後に消えた。毎朝9時過ぎにドアを開け、夜8時を回る頃に「店」を閉じる。人が見張っていると取りにくいだろうからと店先にいるのはマスクをつけたクマのぬいぐるみだけだ。

「『どうぞ』と置く人がいて、『ありがとう』と受け取っていく人がいて、バラバラで小さな善意と感謝の交換がなんとも人間らしくてうれしくて」毎日そばで眺める谷本さんが、一番しあわせなのかもしれない。 参照：朝日新聞 R2.6.29

言われなくても自然と心動かされることには、こんなこともあります。

新型コロナウイルスの感染を防ぐため、スーパーマーケットのレジ回りで床に「足跡」のような模様を見かける。客は意味を深く考えるでもなく、その足跡の位置に立ち、自然と「ソーシャルディスタンス（社会的距離）」が実現する。こうした事例は行動経済学のナッジ理論に当てはまり、医療、介護の現場にも応用が進む。人の選択をより良く導く、ちょっとした工夫で、最適な選択をそっと後押ししている。

「ナッジとは本来、肘でつつく、背中をちょっと押すといった意味です。」医療・介護勤務環境改善ナッジ研

研究会長の小池智子慶応大学看護医療学部准教授はいう。「人はいつも合理的に熟慮して行動するわけではない。頭でわかっているけど行動変容にはつながらない。最適な選択へ、そっと後押しするのがナッジです。」と解釈する。強制せずに知らず知らずに選ぶようにする。そのためには、人の行動の「癖」を利用する。人は利益よりも損失に反応し、将来よりも現在の問題を過大視する。人のためになるルールや社会の規範には従いやすい。

「誰でもどこにでも効く万能なナッジはない。当事者自身の選択の自由を尊重し、強いことが原則だ。使い方によっては意に反した選択の誘導、強制になりかねない、何がより良い選択なのか倫理的に妥当な提示なのかどうか、常に問われている。」とクギを刺した。参照：神戸新聞 R2. 7.25

いつもより長い2学期には、行事を含めたいろいろな計画をしています。人との関わりが社会性を育て、心の折り合いを学んでいきます。工夫しながら、どれくらい実現できるのか心配は尽きませんが、常にやさしさを意識し、子どもにとって何が一番必要かという見通しをもった選択（判断）でありたいと考えています。

## 8・9月 行事予定

8月18日(火)	始業式・大掃除		10日(木)	6校時授業(4.5.6年)	●
19日(水)			11日(金)		
20日(木)		●	12日(土)		
21日(金)			13日(日)		
22日(土)			14日(月)	諸費振替日	
23日(日)			15日(火)		
24日(月)	給食開始		16日(水)		
25日(火)			17日(木)		●
26日(水)	委員会(6h) アルバム写真		18日(金)		
27日(木)	6校時授業(4.5.6年) クラブ決め(6h)	●	19日(土)		
28日(金)	式校時(15:00~下校)		20日(日)		
29日(土)			21日(月)	敬老の日	
30日(日)			22日(火)	秋分の日	
31日(月)			23日(水)		
9月1日(火)	諸費振替日		24日(木)	6校時授業(4.5.6年)	●
2日(水)			25日(金)		
3日(木)		●	26日(土)		
4日(金)			27日(日)		
5日(土)			28日(月)		
6日(日)			29日(火)		
7日(月)	朝礼		30日(水)		
8日(火)		●	10月の主な予定 体育大会		
9日(水)	クラブ(6h) アルバム写真		(詳細が決まり次第お知らせします。)		

※新型コロナウイルスの影響により、泊を伴う修学旅行は中止になりました。

● 定時退勤日(18時)

### 2学期生活目標

友だちの気持ちを大切にし、力を合わせてがんばろう

9月のめあて  
気持ちのよいあいさつをしよう

**お矢のせ**

○熱中症対策として

- ・こまめな水分補給と汗を拭き取ることは、熱中症対策として有効です。特にお子さまの場合、水分補給が欠かせません。今の水筒の量で足りるのかお子さまと相談し、必要ならば大きめの水筒をご準備ください。

○学期はじめの10日間

- ・2学期始まりの10日間前後、特にお子さまの下校後の様子を見守っていただけたらと思います。長期休業明けで不安に感じているお子さんがいるかもしれません。いつもと違う様子がありましたら担任までお知らせください。